

第1回埼大オレンジシンポジウム 参加申込時の質問への回答

参加申込の際にいただいた事前質問のうち、回答可能な内容をまとめましたので、ご参考までに掲載いたします。

	質 問	回 答
1	"さいたま市のサポートグループがいろんな箇所で行われていますが具体的なサポートの種類例えば何かを製作したりゲームをしたりと介護施設のデーサービスの様な形を取られているところがあったりしてしますか <b>!?</b> 常時場所：時間：何をやるか等また決まったサポータ地域が1蘭表になっているか？宜しくお願いします。" (女性 70～79歳)	さいたま市では認知症の方への様々なサポート体制が整備されています。よろしければ、さいたま市認知症ガイドブック ( <a href="https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/003/002/005/p041232_d/fil/dementia_guidebook.pdf">https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/003/002/005/p041232_d/fil/dementia_guidebook.pdf</a> ) の 6 ページの表をご参照ください。
2	"親、家族、友人等の認知症を疑う場合の初動はどう声掛けするのがベストか？自身が疑わしいと感じた時にまずやるべきことは？" (女性 60～69歳) 自分自身の生活をふりかえり、MCIが始まった気がしています。 体験者の方の体験談や、どのタイミングで、医療機関を受けたらよいかご指導いただければ幸いです (女性 60～69歳)	認知症は、早期に発見し適切な治療を開始すれば、症状が軽減したり、悪化をある程度防ぐことができる場合があります。認知症かもしれないと思ったら、早めに医療機関や、シニアサポートセンター（地域包括支援センター）に相談することも有用です。また、さいたま市では早期発見・早期診断を目的として「もの忘れ検診」が実施されています。
3	新しい認知観は、どのくらいの人に認知されていますか？ (女性 60～69歳)	新しい認知症観をひろげるために、認知症基本法が2024年1月に制定されました。しかし、まだ日が浅いため、未だに多くの方が古い認知症観を持ったままであると思われます。より多くの方に新しい認知症観をもっていただけるような取り組みを行ってまいりたいと考えております。
4	成年後見人制度、家族信託、任意後見（移行型・即効型）など色々な後見制度が合って、どの段階でどれを、どんな条件のもと活用すれば良いのかわからない。どう言う行政相談窓口でそれぞれを選択、活用すれば良いのか知りたい。 (男性 50～59歳)	さいたま市では認知症の方への様々なサポート体制が整備されています。よろしければ、さいたま市認知症ガイドブック ( <a href="https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/003/002/005/p041232_d/fil/dementia_guidebook.pdf">https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/003/002/005/p041232_d/fil/dementia_guidebook.pdf</a> ) の59～61ページの表をご参照ください。
5	本シンポジウムの趣旨とはずれますが、職場で若年性認知症のような症状が見られる方への配慮について (女性 30～39歳)	職場の上司へ相談に加えて、産業保健スタッフへの相談も有用です。また、若年性認知症支援コーディネーターが認知症本人・家族、職場からの相談を受け、医療機関受診の同行、適切な制度やサービスの情報提供、手続きサポート、医療や就労関連機関と連携を図ることも可能です。
6	認知症の方が食事をしたこと自体を忘れることについて、健康を考えて済ませた旨を伝えるか少量でも出した方がよいかの工夫について聞きたい (女性 40～49歳)	記憶障害や満腹中枢の機能低下によって食事をしたことを忘れてしまっている可能性があります。個人差が多く、対応方法も様々です。少量で軽食を出すことも1つです。ただし、過食や肥満を避けるため、1回あたりの量は少なくした方が良いでしょう。また、「食事がもう済みましたよ」と事実を伝える、否定はせずに「今食事を準備中しています、何が食べたいですか？」と話題をあげ穏やかに対応する、食器をすぐに片づけない、といった方法も有用かもしれません。

第1回埼大オレンジシンポジウム 参加申込時の質問への回答

参加申込の際にいただいた事前質問のうち、回答可能な内容をまとめましたので、ご参考までに掲載いたします。

	質 問	回 答
7	"認知症を語り合える精神病院ではなく身近なNPO法人等有りますか？ 認知症患者だけでなく、家族をふくみます。" (男性 70～79歳)	さいたま市には、認知症の方や高齢者が、地域の方とのつながりを失い、孤立することを防ぐため、交流の場の提供や活動を支援したり、それぞれの能力を活かした仕事や役割、地域での活動の確保を支援するサービスが整備されています。よろしければ、さいたま市認知症ガイドブック ( <a href="https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/003/002/005/p041232_d/fil/dementia_guidebook.pdf">https://www.city.saitama.lg.jp/002/003/003/002/005/p041232_d/fil/dementia_guidebook.pdf</a> ) の42～47ページの表をご参照ください。